



受付第05A2379号
受付日：平成17年11月8日

品質性能試験報告書

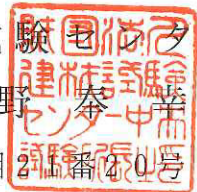
依頼者 株式会社 カ ナ イ
常務取締役 並 木 高 様
埼玉県八潮市西袋717-1

試験名称 枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の性能試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

平成18年 1月24日

財団法人 建材試験
中央試験所長 勝 野
埼玉県草加市稲荷5丁目



品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の性能試験						
依頼者	株式会社 カ ナ イ						
試験項目	引張						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 商品名：シークホールダウン C-HD2530 用途：柱脚の仕口に使用する接合金物（アンカー型） 形状・寸法：幅40mm、長さ240mm、厚さ4.5mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接したもの（図-3参照） 材質：SPHC（JIS G 3131） 表面処理：ダクロタイズド処理 取付位置：たて枠下端から高さ90mmの位置に金物下部を合わせて設置</p> <p>2. 接合具 木ねじ：3#角ビット鍋スクリューφ6.0×90、10本使用 長さ：90mm、ねじ部の長さ：75mm、ねじ部の外径：6.25mm、 谷の径：4.45mm、ねじ山のピッチ：2.82mm、ねじ先の形状：切り刃先 材質：SWRCH22A（JIS G 3507）相当品であり、下記の化学成分を満足する。 C（0.18～0.23%）、Si（0.10%以下）、Mn（0.70～1.00%） P（0.030%以下）、S（0.035%以下）、Al（0.02%以上） 表面処理：電気亜鉛めっき及びセラミックコーティング アンカーボルト：M16六角ボルト、材質：SS400（JIS G 3101） 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625）</p> <p>3. 使用枠組材 たて枠：JAS規格の枠組壁工法構造用製材、樹種：S-P-F、区分：甲種、等級：2級、寸法形式：204</p> <p>4. 試験体数：7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>						
試験方法	「2002年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（監修／国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室、発行／社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料および接合部の許容応力度等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性（繰返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。その詳細を表-1に示す。						
試験結果	試験体		試験許容応力時		試験終局耐力	終局変位	試験剛性
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	(K) kN/cm
	CHD2530-24	0	42.0	4.4	63.2	16.3	95.5
		1	35.9	4.0	57.9	20.8	89.8
		2	34.7	3.6	60.1	17.5	96.4
		3	38.3	4.5	59.6	16.4	85.1
		4	38.7	3.1	64.1	15.0	124.8
		5	39.1	4.3	55.3	12.8	90.9
		6	33.4	3.1	53.1	12.2	107.7
	平均		36.7	3.8	58.4	15.8	99.1
標準偏差 s		2.36	0.60	3.87	3.19	14.8	
5%下限値		31.2	—	49.4	—	—	
基準値		基準許容応力 20.8		基準終局耐力 49.4		基準剛性 99.1	
(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり、基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また、基準剛性は試験剛性の平均値である。 参照：表-2 (2/3Pmax時、最大荷重時及び破壊状況)、図-4 (荷重-変位包絡線の比較) 図-5 (荷重-変位曲線、包絡線及び完全弾塑性モデル)、写真-1～写真-6 (破壊状況)							
試験期間	平成17年11月 9日 ～ 11日						
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 大 祐 試験実施者 守 屋 嘉 晃						
試験場所	中央試験所						